

大会開催にあたって

今年度の研究大会も、新型コロナウイルス感染症をめぐる状況や学会の規模にみあった運営体制などに鑑みて、オンライン開催となりました。合計12名の研究者が個人研究発表を行いますので、ぜひとも各会場の議論にご参加ください。シンポジウムは、「他者の経験を記述すること」と題して、伊藤亜紗、小林道太郎、小宮友根の各氏に提題していただき、現象学や社会科学の方法をめぐる考察がなされます。また、男女共同参画・若手研究者支援ワークショップとして「女性研究者はどこへ消えた?!—安全な研究環境づくりのために考える—」が開催され、ジェンダー不平等と研究環境の関係を考える機会を設けます。公募ワークショップの企画として「パフォーマンスの現象学」が実施されます。多くの会員諸氏のご参加をお待ちしております。非会員の皆様にもご案内いただければ幸いです。

企画実行委員長

プログラム

11月26日(土)

09:55-11:30 **個人研究発表** (発表30分・質疑応答15分)

第A1会場 (オンライン会場1) 司会: 八重樫委員

9:55 中西淳貴 (東京大学)

自己触発と現象学的クロノロジー

10:45 佐藤大介 (岡山大学)

フッサール他者経験論の擁護

第B1会場 (オンライン会場2) 司会: 石原(孝)委員

9:55 小松伸二 (立正大学)

サミュエル・トーデス『身体と世界』における「知覚カテゴリー」について

10:45 佐野泰之 (立命館大学)

フェミニスト現象学における還元的位置づけ

11:30-12:50 昼休み・第1回委員会 (オンライン会場2)

12:50-15:50 **【シンポジウム】 (オンライン会場3)**

「他者の経験を記述すること」

提題者: 伊藤亜紗 (東京工業大学)

提題者: 小宮友根 (東北学院大学)

提題者: 小林道太郎 (大阪医科薬科大学)

司会: 西村ユミ (東京都立大学)

16:00-18:00 **【ワークショップ】 (オンライン会場3)**

「パフォーマンスの現象学」

オーガナイザー・提題者: 河野哲也 (立教大学)

提題者: 長滝祥司・西川太智 (中京大学)

提題者: 田中彰吾 (東海大学)

提題者: 日向悠太 (立教大学)

11月27日(日)

09:15-12:30 **個人研究発表** (発表30分・質疑応答15分)

第A2会場 (オンライン会場4)

司会: 司会・加國(前半)・田口(後半)委員

09:15-10:00 柳瀬大輝 (東京大学)

メルロ＝ポンティとコペルニクスの転回

10:05-10:50 古怒田望人 (大阪大学)

レヴィナス現象学のクィアな可能性を開くために——『全体性と無限』における繁殖性の問題と後期レヴィナスの展開——

10:55-11:40 宗利風也 (早稲田大学)

前期デリダにおける「生き生きした現在」の位置付けの変遷

11:45-12:30 河野哲也 (立教大学)

音楽に媒介された政治的志向性の現象学のために——ネグリ・チュード運動とハーレム・ルネッサンスについての哲学的考察から——

第B2会場 (オンライン会場5)

司会・池田(前半)・谷(後半)委員

09:15-10:00 森正樹 (慶應義塾大学)

ハイデガーによる超越論的統覚の解釈について

10:05-10:50 宮崎 勝正 (北海道大学)

遊び研究におけるガダマーの「遊び」概念の意義

10:55-11:40 加藤 皓士 (名古屋文理大学)

ハイデガー哲学における人間と存在の相互前提の問題

11:45-12:30 赤塚弘之 (無所属)

知の構造における像 (Bild) と通 (Durch) をめぐって——フイヒテの『1804年の知識学講義』とベームの『わかには意味を産出するのか』を参考に——

12:30-13:45 昼休み・第2回委員会 (オンライン会場5)

13:45-14:15 **総会 (場所: オンライン会場6)**

14:20-16:50 **【男女共同参画・若手研究者支援WG主催ワークショップ】 (オンライン会場6)**

「女性研究者はどこへ消えた?!—安全な研究環境づくりのために考える—」

オーガナイザー: 中澤瞳 (日本大学)

提題者: 古怒田望人 (大阪大学)

提題者: 佐野泰之 (立命館大学)

提題者: 高井ゆと里 (群馬大学)

提題者: 中原真祐子 (上智大学)

提題者: 村田純一 (東京大学名誉教授)

第44回

研究大会

お知らせとお願い

1 2021年度決算報告 (2021.4.1~2022.3.31)

【歳入】		【歳出】	
歳入項目	決算額	歳出項目	決算額
前年度繰越金	¥1,845,087	『年報』出版費	¥669,405
納入学会費	¥1,347,000	『年報』編集費	¥0
『年報』売上	¥38,390	『年報』送料	¥59,995
科研費 (研究成果 公開促進費)	¥0	科研費残額返金	¥0
研究大会参加費	¥27,054	通信費	¥67,712
普通預金利子	¥4	企画・実行費	¥0
計①	¥3,257,535	事務局経費	¥79,500
【次年度繰越金】	¥1,944,638	研究大会開催費	¥28,935
		研究大会講師謝礼	¥40,330
		国際学会年会費	¥0
		事務謝礼	¥342,880
		会員名簿作成費	¥0
		事務局移転費	¥4,140
		研究奨励費	¥20,000
		特別経費	¥0
計②	¥1,312,897		

2 会費納入 学会費 (年間 3,000 円) を同封の振込用紙にてご納入下さい。

日時: 2022年11月26日(土)・27日(日)
会場: オンライン

会員=無料 (今年度会費が未納の方は参加登録にあわせてご納入ください。)
非会員=1,000円

日本現象学会 HP より参加登録をお願いします。

<http://pa-j.jp/>

日本現象学会

事務局:
〒657-8501
兵庫県 神戸市 灘区 六甲台町1-1
神戸大学 人文学研究科 中 真生研究室
Email: paj-office@pa-j.jp
郵便振替 00980-9-109153
HP: <http://pa-j.jp/>